

会津大学短期大学部・受験生向けウェブサイトの制作

a2200914 三瓶明子

【背景】

インターネットの普及が若年層にまで及び、それに伴い学校のWEBサイトの情報も重要度が増している。そのため、各大学はさまざまな工夫を凝らして受験生たちの興味を引かせるようなサイト作りを行っている。本学のサイトでも上記のような受験生を誘致するようなサイトのデザイン、コンテンツの充実を図ろうと考えたのが本研究の背景である。

【目的】

サイトを見た受験生が本学に更なる興味を持ってもらえるようなデザインのサイト・コンテンツの制作

受験生が必要な情報を見やすいサイト構成を考案する

【現状の調査】

<調査方法・結果>

2010年度サマーオープンキャンパスを訪れた高校生を対象に一対一のヒアリング調査

- ・学科の特色、卒業後の進路、入試案内についての情報をもっと増やして欲しい
- ・トップページの新着が見辛い

福島県立郡山高等学校 1クラス 32名を対象にアンケート調査

- ・卒業後の進路、キャンパスライフ、学科・カリキュラム、入試案内などに関心がある
- ・文字が全て小さい、強調するところは強調して欲しいという意見があった
- ・授業風景などのページに学生のリアルな声を欲しがっていることが分かった

本学と同じような学科を持つ他の短期大学のサイトと比較する

- ・見て欲しいコンテンツは文字とパナーの両方で表示させている
- ・学科紹介のページでは学生や活動中の写真を使って一目でどんなことをやっているか分かる

【制作方針】

情報の構造化・表示について見直す

...現在のデザインでは表示が縦に長く、サイトを見た時に一目で分かる情報量としては多いコンテンツの強弱

...強調するべき所はテキストリンクだけでなく、文字を大きくしたりインデントを使用する

...学科ごとの具体的な情報やタイムリーな情報をもっとアピールする

画像によるナビゲーション

...コンテンツへのリンクやパナーなど、画像による情報を増やす

色による情報の整理

...学科ごとの情報は各学科に設定しているテーマカラーによって区別する

学科ごとの特色を具体的にアピールできるようなコンテンツを制作する

...その学科でどのような活動・イベントがあるのかを知ることが出来るコンテンツを作る

【作品制作】

<サイト>



<Flash コンテンツ『会津大学短期大学部の学科を知ろう!』>

各学科ごとに2年間分のイベントカレンダーを製作し、クリックすると各イベントの詳細が表示される。一つ一つに画像と文章の両方で説明を入れて、具体的に学生生活が分かるようにした。



【制作物の見直し】

サイトを本学の一年生を対象に意見の聞き取り調査を実施した。またデザインに関していくつか意見があり、それを参考にページデザインの見直しを行い一部を修正した。

- ・トップページ画像...タイトル文字削除、画像サイズを変更
- ・Flash コンテンツ・トップ画面...背景・ボタンのデザインを変更
- ・Flash コンテンツ・イベントカレンダー...「月」だけだった表示を「年月」に変更、2学年のカレンダーの配色を反転して区別

【まとめ・感想】

全体として受験生が必要とする情報を簡単に見つけられるサイトにしようと考え、本学のテーマカラーであるオレンジをベースにそれぞれの学科のカラーを目立たせるようにした。

また、調査を元に受験生が本学に興味を持つコンテンツは主に学科紹介であると判断し、重点的にデザインを検討した。各項目をタブ分け表示して直感的に操作が出来るようにし、パナーをトップページの目立つ所に配置した。すると、見直しの際に「学科紹介の項目がタブでまとまっていて見やすい」という意見や「トップページをパッと見た時に一番見たい学科紹介へのリンクがすぐ目に入って来た」という意見があり、効果があったと考える。これらの意見が返って来たことにより、受験生が本学に興味を持って貰えるようなデザインのサイトに近づけることが出来たのではないかと考える。

Flash コンテンツも色調をサイトと統一して共通性を持たせることによって、学科ごとにまとまりが出たように思う。またボタンを記号で表示することによって初めて操作するユーザーでも戸惑うことの無いように心がけた。実際に操作してもらっても、どんな操作をしたら良いかすぐ分かったという回答が多数を占めたので、見やすい構成にすることが出来たのではないかと感じている。そして最後に見直しを行うことによって、目的を振り返り改めてデザインを見つめ直すことが出来た。